



Introduction and aims of the Workshop

28 January 2009

知識化グループ
日置 一雅

Kazumasa Hioki
Knowledge Management Group

背景

- 放射性廃棄物の処分において、品質保証(QA)が重要な要素であることは、わが国の地層処分実施機関、規制機関が共に認めるところ。
- また、多くの従来産業とは異なり、放射性廃棄物処分には、高度なQAが必要であることは、国際的な経験からも明らか。

ワークショップの目的

- 日本原子力研究開発機構の知識管理システム(JAEA KMS)の各構成要素に必要なQAの要件を明確にし、JAEA KMSが将来のユーザーからの要求に十分に応えられるものとする

ワークショップの構成

1. プレゼンテーションと議論
2. 演習
3. ブレインストーミング

1. プレゼンテーションと議論

- 規制の見地
- 実施者の見地
- 研究開発(知識生産者)の見地
- 国際的な視点からの見地
- 日本のデータ生産のレビュー
- 日本のモデリングと性能評価のレビュー
- Top down QA
- Bottom up QA

2. 演習

- 第一日目午後
- データ生成、解釈と文書化、モデルの開発と使用等における基本的な品質管理の認識について演習

- 第二日目午前から
- ロール・プレイングによるグループ演習

3. ブレインストーミング

- 品質管理システムを適切に実施するための指針と行動計画について

専門家

- Ian McKinley, McKinley Consulting
- Russell Alexander, Bedrock Geosciences
- Fiona Neall, Neall Consulting Ltd.

WSを通じて、

- QAIにどう取り組んでいるのか？異なった立場から needs & practicesを。
- 演習を通じて、QAの重要性、難しさを。
- Discussionを通じて、今後、日々の仕事の中で、どう取り組んでいくべきか、例えば組織内での仕組みや、QA担当者を置くなど、を。
- Publicの信頼、ひいては、日本の地層処分の実現を。

Administrative Announcement

- 3人の専門家の英語の発表資料の和訳版 —
– Quality not assured due to time constraint.
- 飲み物はセルフサービス
- 喫煙室はひとつ上の階に
- 昼食は、参加者全員に弁当を手配済み
- 本日WS終了後、簡単な立食形式のレセプション
- 明日は9:00開始！